

4年間の主に取り組んだ活動・項目と成果

年間4回の定例議会後の市政レポート発行と市政報告

成果 定例議会後に市政レポート(現時点19号)を発行、駅頭での配布、新聞折り込みの実施。おゆみ野、誉田、あすみが丘各地区で毎定例議会後に市政報告(合計45回)



「財政非常事態宣言」

—財政の実態を明らかにし市民の協力を得て財政再建を進めるため

成果 H21年10月「脱・財政危機」宣言の発出



大型開発事業の見直し —税金の使い方、使い道は、 開発優先から生活優先に!

成果 モノレールの延伸凍結、蘇我スポーツ公園整備の計画縮小(H21年度)

事務事業評価制度の外部評価の導入

—第三者の視点により事業を見直し、点検を行うため

成果 千葉市版事業仕訳の実施(H21年度)

区役所の機能・権限の強化

—地域課題の把握と住民と協力をまちづくりを進めるため

成果 区役所の毎月第2日曜開庁、地域づくり支援室・くらし安心室の新設・多機能パトロールの実施(H23年度～)等



道路部組織の見直し

—道路建設予算減額に対応した組織のスリム化

成果 特定街路課を廃止・4課から3課体制に(H23年度)



市有資産の有効活用

—未利用地の有償・無償貸付等による 財源確保と維持管理経費縮減のため

成果 公有財産の全庁横断的な一元管理及び有効活用に関する基本方針の策定等を行う資産経営部の新設(H23年度)

職員の人材育成—市民視点に立った行政サービス向上のため

成果 全庁的なサービス向上運動の展開強化、人材育成を図るための人事考課制度の見直し(H23年度)



指定管理者の選定基準の見直し

—コミュニティセンターのサービス向上のため

成果 「利用者サービスの向上」の視点を選定基準に組み込む(H22年度)

保育所待機児童ゼロの実現

—保育比率を目標にした整備、既存幼稚園の活用等

成果 新たな整備目標を設定した「待機児童解消に向けたアクションプラン2010」の策定・実施(H22年度～)

高齢者見守り支援ネットワークの構築

—高齢者を地域で支えあう仕組み作りのため

成果 高齢者の見守りにつながる地域活動を実施する団体に対する助成(H23年度～)

介護人材(介護福祉士、ヘルパー等)の確保

—急激な高齢化により将来不足が見込まれるため

成果 福祉人材確保・定着千葉地域推進協議会の設置、介護施設介護スタッフ確保事業の実施(H23年度～)

市水道・下水道料金の徴収一元化—徴収率向上・業務効率化と利用者の利便性向上のため

成果 H24年度から一括徴収開始(約17000戸)

小・中学校ごとの携帯メールによる緊急連絡体制の整備

—不審者情報配信等による安全対策強化のため

成果 全校で体制整備(H23年度～各校での取り組み)

新設中学校(おゆみ野南中)の早期の開校準備

—保護者・地域と一体となった学校づくり

成果 開校準備の協議を行う3校準備委員会の設置(H22・9月)



議会改革—市民に開かれた透明性の高い議会とするために

成果 費用弁償(議会会議に出席したときに8000円を支給)の廃止、政務調査費すべての支出の領収書添付、常任委員会の一般傍聴、一問一答方式の導入、陳情・請願者の説明機会の付与、政治倫理条例の制定、議長・副議長選出方法の見直し等